

赤外線画像から、コンクリートの損傷部を自動検出。

ソフト 損傷判定支援ソフト

特許第5028681号

構造物の内診に、
道具や時間は要りません。

- 1 撮影された熱画像からコンクリートの浮きや剥離部を自動検出。
- 2 浮きや剥離部の損傷状態を3段階に自動で分類。
- 3 判定の個人差や損傷部の見落としを排除。
- 4 検出されたデータ画像を表計算ソフトなどに添付でき、報告書作成をサポート。



赤外線画像から損傷箇所を自動検出。 損傷レベルを3段階に分けて細部まで表示します。

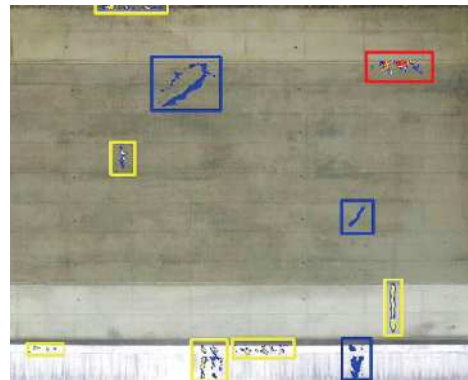
コンクリート内部の次世代調査システムである赤外線調査システムをより信頼性の高い調査にするのがJソフトです。赤外線撮影した画像を自動で解析し、損傷レベルを3段階に分けて表示し、ソフトによる客観的な解析が可能のため、バラツキや見落としが防止できます。さらに、熱画像や解析画像が、表計算ソフトやワープロソフトなどに簡単に貼り付けられるため、調査報告書などの作成にも役立ちます。



**Jソフトは、大量のデータ解析が可能。
損傷を客観的に判断し、バラツキや見落としを防止します。**

損傷レベルを
3段階に判定

Jソフトによる調査結果

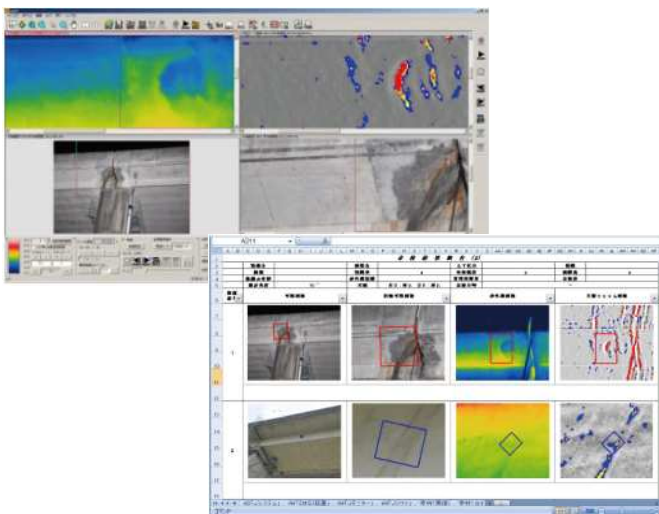


損傷判定の実施で
要注意部分のみに
打音箇所を限定(経済的)

■ 要注意
■ 注意
■ 観察



**Jソフトの熱画像・解析画像を
エクセルなどへ簡単に添付でき、報告書作成もラクラク。**



【稼働環境】

- OS:Windows7/Windows10 64bit版
- ハードウェア: Intel Core i5 以上推奨
- メモリー: 2GB以上

■販売元・お問い合わせ先

西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社

〒760-0072 高松市花園町三丁目1番1号

tel.087-834-1121 fax.087-834-0150

くわしくは

販売代理店

リアルタイムで構造物内部の損傷が判定できる。

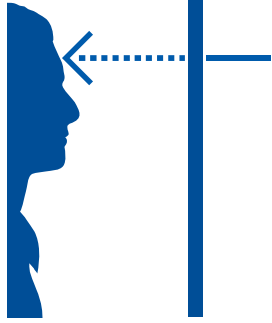
Jモニター 調査支援モニター

特許出願済

構造物を、

外側から調べる内視鏡。

- 1 現場で損傷レベルをモニターで確認可能。
- 2 個人差による損傷部の見落としを防止。
- 3 損傷部をより発見しやすくし、赤外線調査を強力にサポート。

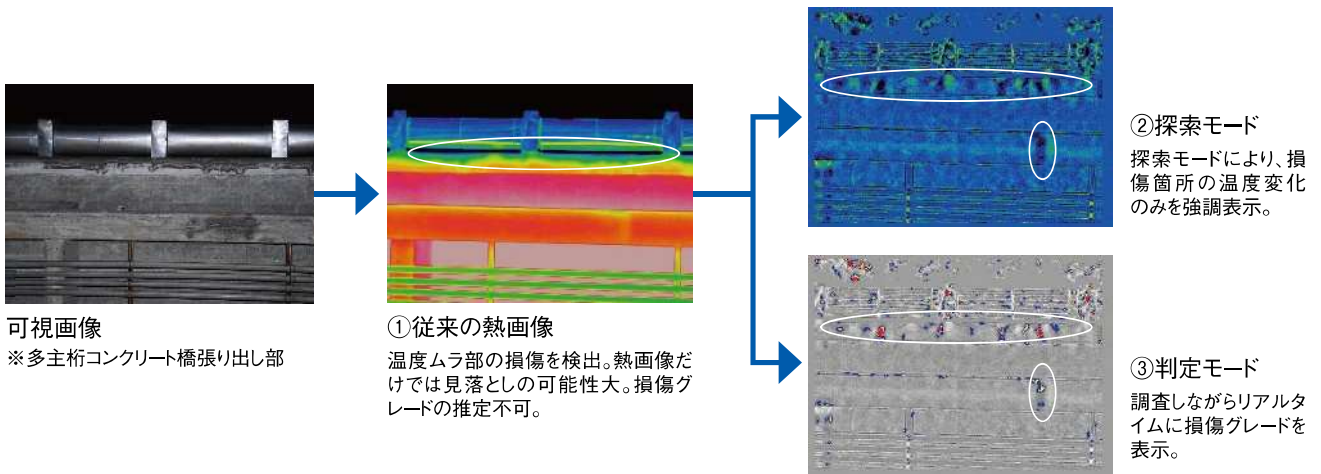


赤外線カメラに取り付けるだけで 現場でリアルタイムに損傷状態が確認できます。

コンクリート内部の損傷調査を画期的に変えた赤外線調査をさらに支援するのがJモニターです。赤外線カメラにJモニターを設置すれば、調査現場でリアルタイムに調査結果を知ることができます。熱画像で温度ムラから損傷箇所を表示するだけでなく、温度ムラを強調表示する探索モードや損傷具合を3段階に分けて表示する判定モード、さらには、損傷予測確率をリアルタイムで表示して、コンクリートの浮きや剥離を細部まで見逃しません。



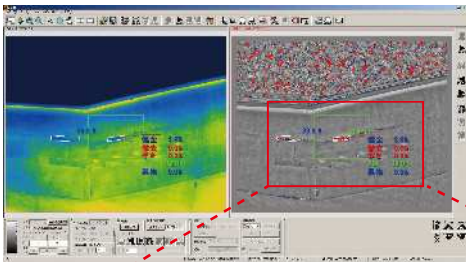
赤外線画像を3種の解析方法を用いて、 構造物の損傷を厳しくチェックします。



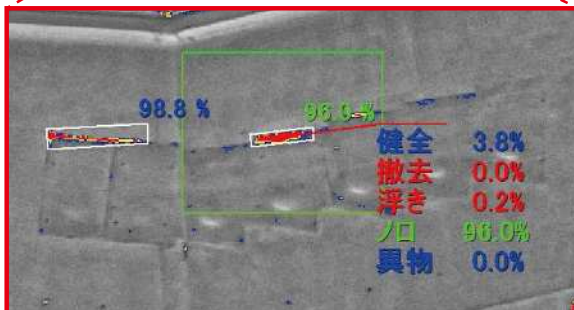
3段階表示

- 観察
- 注意
- 要注意

④損傷予測確率グルーピング機能



調査しながらリアルタイムに損傷予測確率を表示



【稼働環境】

- OS:Windows7/Windows10 64bit版
- ハードウェア: Intel Core i5 以上推奨
- メモリー: 2GB以上

■販売元・お問い合わせ先

西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社
〒760-0072 高松市花園町三丁目1番1号
tel.087-834-1121 fax.087-834-0150

くわしくは エンジニアリング 四国 検索

販売代理店

赤外線調査の調査時間帯を正確に判断するために。

EM(S)装置

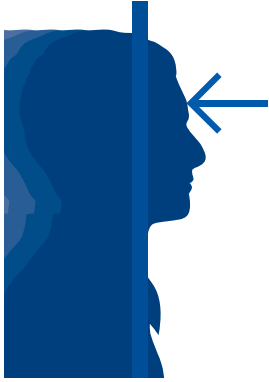
貼付型熱環境測定装置

特許出願済

調査の前に、

まずは基礎体温を計りましょう。

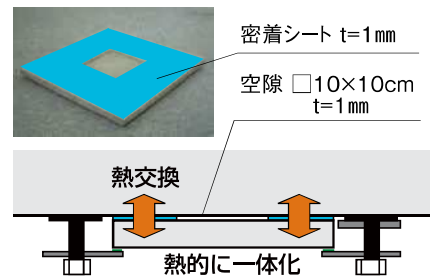
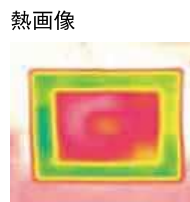
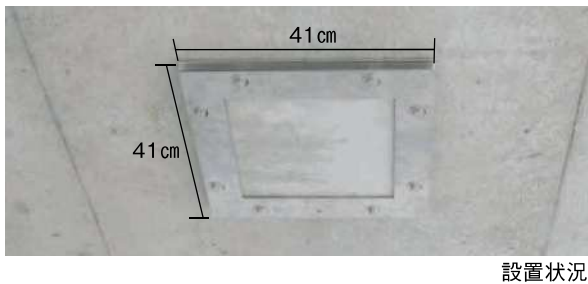
- 1 構造物と熱量を一定にし、正確な調査環境を整備。
- 2 気温変化だけでなく、風や日射を含め複雑な熱環境を正確に把握。
- 3 取付にアンカーを使用しないので、構造物は無傷。



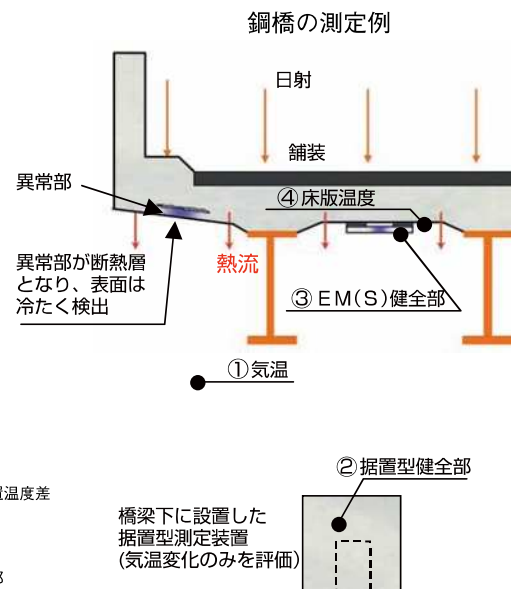
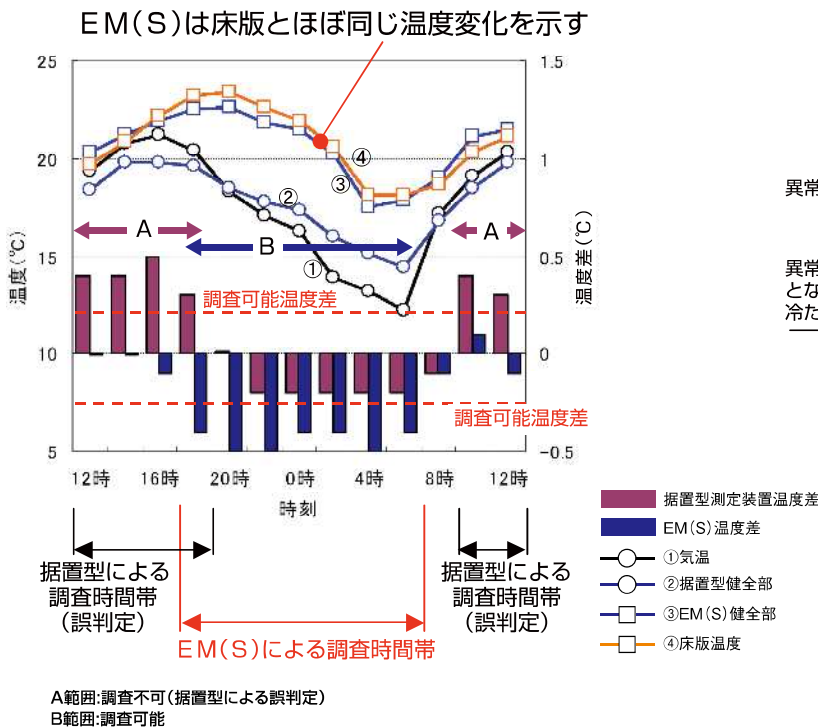
正確な赤外線調査には、最適な調査時間帯を知ることが第一です。

EM(S)装置は、赤外線調査に最適な構造物の熱環境を把握する装置です。コンクリート面にEM(S)装置を設置し、構造物と熱交換することで熱量を一定化し、床版厚の薄い鋼橋でも、日射の影響を反映した最適な調査時間を把握することができます。また、従来の据置型とは違い、コンクリート面と違和感なく一体化します。また、設置にアンカーを使用しないため構造物を傷つける心配もありません。

POINT 熱交換により実構造物と一体化した擬似損傷を再現します。



POINT 床版厚の薄い橋でも最適な赤外線の調査時間帯を把握できます。



販売元・お問い合わせ先
西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社
〒760-0072 高松市花園町三丁目1番1号
tel.087-834-1121 fax.087-834-0150

くわしくは [エンジニアリング 四国](#) [検索](#)

販売代理店